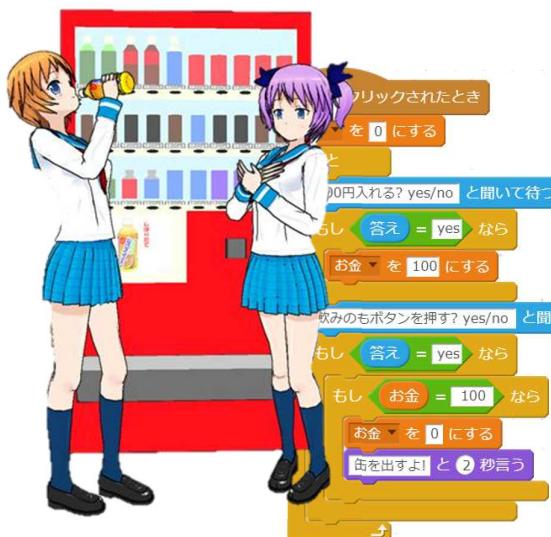


# アルゴリズムとプログラム Ver. 4

## 学習の進め方



情報の授業の中では、やや難しいアルゴリズムとプログラムの学習です。動画、スライド、実習の組み合わせですが、自分のペースで進めてください。  
わからない時は、まわりの友達に相談するか、先生に聞いてください。



1



Go.Ota, Jan.2021

説明

## どうしてプログラミング

- プログラミングには好き嫌いがあります。この課題が割と楽しくできた人は、ITやプログラミングの仕事に向いているかもしれません。将来の仕事の適性がわかります。自分の隠れた才能を探してみよう。
- 家の中の家電もプログラムで動いています。またスマホのアプリはプログラムです。この課題でプログラミングがわかると、アプリなどがどのような仕組みで動いているか、なんとなくわかり、より良く利用できるようになります。

2

# 学習の進め方(1)

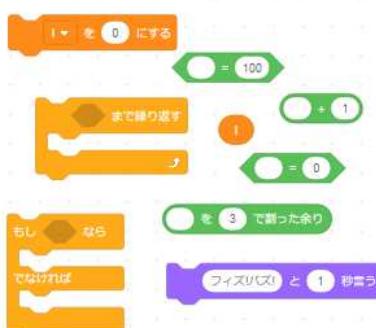
- 今見ている、この資料に学習内容の説明・課題などあります。個人のペースで学習を進めてください。各学習が終つたら、次のスライドを見てチェックシートにチェックを入れてください。
- 課題の中には簡単なものもあり、すでにわかっている人は飛ばしてやってもいいです。
- 授業中は必要だったら歩き回って、友達に相談したり、友達に教えてあげていいです。
- 分からないことがあつたら、先生に質問して聞いてもいいです。



3

# プログラムって何?

## プログラム



個々の命令(Scratchの場合はブロック命令)を組み合わせて、ある目的を実行するための集まり



LEGOというおもちゃで、ブロックを組み合わせて形を作りようなもの



4

# ここでのプログラムの作り方(1)

説明



小さな個々のブロック  
を組み上げて作ると  
大変なので、ある程度  
の部品を使って作る



プログラム



5

個々の命令を組み合わせて、作ると大  
変なので、いろいろなプログラムで共  
通的に使う部品を組み合わせて作る。

# ここでのプログラムの作り方(2)

説明



プログラム機能部品	
01	四則演算と変数への代入
02	キーボードから数値や文字の入力
03	条件を判断して、命令を実行
04	条件を判断して、○と×で違う命令を実行
05	複数の条件を判断して違う命令を実行
06	数をカウントアップしながら繰り返す
07	リストの処理(取り出し、入れ替え、追加)
08	二つの変数の内容を入れ替える
09	繰り返しとリスト利用の組み合わせ
10	二重の繰り返し
11	二重の繰り返し(内の繰り返しの開始を変更)

この学習で使う、プログラムの共通的に部品は、プログラム機能部品カードとして、11枚用意されています。プログラムを作る時は、基本的にこれらの部品を組み合わせて作るので、いつも参考にしてください。

部品  
01

6

# 学習の進め方

理解

No.	内容	スライドNo.	チェック			
			[動画]	[理解]	[打ち込み]	[開発]
ここまででは、やってみよう。	学習の進め方	2	✗	□	✗	✗
	準備運動 1: Scratch の四則演算	4	✗	□	□	✗
	準備運動 2: ネコに自分の名前を言わせる	5	✗	□	□	✗
	プログラムと変数	6	□	✗	✗	✗
	課題 1: 入力した 2 個の数で四則演算	7	✗	✗	✗	□
	打ち込み 1: 合格判断	8	✗	□	□	✗
	課題 2: 合格不合格判断	9	✗	✗	✗	□
	課題 3: 3 つの数の合計	10	✗	✗	✗	□
	課題 4: 正三角形の判断	11	✗	✗	✗	□

- ・スライドNo. このスライド内の番号
- ・動画 : 指定された動画をみたらチェック
- ・理解 : スライドの内容を見て自分なりにわかつたらチェック  
　　スタジオ内のプログラムの意味がわかつたらチェック
- ・打ち込み : スライドのプログラムを入力して動作確認  
(簡単なプログラムで打ち込む必要なしと判断した場合は  
　　打込まなくていいです)
- ・開発 : スライドの課題のプログラムを作って、ちゃんと動作  
　　したらチェック。